

---

# ワル乗り

坂田火魯志

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ワル乗り

### 【Nコード】

N1653S

### 【作者名】

坂田火魯志

### 【あらすじ】

再びある県のマスコットネタです。SmileJapan企画作品です。しかし本当に何故あのマスコットなのでしょう。か。

## 第一章

### ワル乗り

不気味だの気色悪いだの言われて散々な評判のマスコットがある。それはとある県のマスコットだ。

多くの人間がこのマスコットが決まった時には怒り狂った。何故そんな可愛くないマスコットにしたのかとだ。知事が何時の間にか選びそれで決定した。しかしこの場合は密談での決定だの独断だのが問題にはならなかった。問題になったのはそのマスコットのあまりもの可愛くなさ、不気味さ、気持ち悪さであった。

それでなのだった。県民達はマスコットに対して非難轟々であった。それは

留まるところを知らなかった。だが彼等が騒ぐせいだ。

マスコットは注目され全国的に知れ渡るようになってしまった。それでさらに注目されてだ。インパクトが強過ぎてかえって知られるようになったのだ。

県民達にとってはこれは計算外だった。焦った彼等は対抗馬として彼等のマスコットを考案していった。しかしそのマスコット達ではなかった。

インパクトが弱かった。そのあまりにも不気味なマスコットのインパクトには惨敗してしまった。インパクトの意味で勝敗は明らかだった。

それに気をよくしてか。知事はだ。

マスコットのグッズなどという恐ろしいものを考えた。あるうことかそれを売りに出した。するとこれが異様なまでに売れた。これには県民達も言葉を失った。しかし売れているのは事実だ。あちこちにポスターとして出た。着ぐるみとなって顔を出す。

それに付け加えてであった。彼一人では済まなくなった。

何とさらにであった。マスコットの家族というだ。余計というこ

とでは済まない存在達まで考えたされた。遂には家族まで出て来たのだ。

県民達は今度こそ言葉を失った。どう言ってもいいかわからなかった。だが、である。

ネットではだ。その家族はこう評された。

## 第二章

最早マスコットには見えないとだ。化け物の様だとだ。

ただでさえ気持ち悪いと評判のあのマスコットが増えた様なものだ。それでそうした声があがらない方が不思議だった。しかもネットでは本音が出る。

マスコットが出て来た時からそう言われていたが一家になるとだ。余計に言われるのだった。そしてそれは留まるところがなかった。

何が留まらないのか。そのマスコットをプッシュする県の方がだ。マスコットは一家で県内を席卷しその至る場所に姿を現した。挙句には県外にまで出張する始末であつた。

そして遂にはだ。マスコットはだ。

県に就職することになった。しかも永久就職だ。県の正式なマスコットとしてだ。ずっと県にすることになったのである。何と公式にだ。実際に知事が直接正式採用としている。この知事もいくところまでいつているがそれについて誇りにさえ思っているようである。どうやらこの知事が見ているのはインパクトだけの様である。そうした意味では彼の狙いは大当たりだった。がそれ以外、常識という分野においては成功が失敗かというところそれは言うまでもないことだった。それは県民達が出しているものだ。

マスコットもそれを選んだ知事も止まらない。誰もが大概にしろと思うのだが止まらない。マスコットは今も県庁にいる。彼を見た県民達は誰もが嫌な顔をする。しかしそれでもだ。インパクト故に残ってしまいグッズも売れておまけに家族までできた。しかも就職までしてしまった。彼の勢いは止まらない。調子に乗る一方だ。誰もが望んでいないマスコットの快進撃は続くのであつた。

ワル乗り

完

2  
0  
1  
1  
.  
4  
.  
2

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1653s/>

---

ワル乗り

2011年10月3日00時09分発行